事例No.	2149
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	鹿児島県南大隅町

事例区分	DX

タグ	・ICT ・福祉・介護 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	デジタルデバイド対策

事例内容・タイトル

ユニバーサルデザインフォントによる情報発信

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

169 ユニバーサルデザインフォントによる情報発信【鹿児島県南大隅町】

事業の概要

○　南大隅町は、高齢の住民も多く、住民によりわかりやすく正確な情報提供を行うことに苦慮していた。そこで、情報発信ツールである町ホームページにおいて、デバイスに依存しない読み手に配慮したユニバーサルデザインフォントを導入した。

○　高齢者や視覚の弱い方にも誤読されにくいよう配慮されたWEBフォント（ユニバーサルデザインフォント）の導入により、ＰＣのみならず、スマートフォンやタブレット端末など、どのデバイスでも同様に表示することができる。



※　本取組の記載については、事業概要の趣旨から、ユニバーサルデザインフォントを採用しております。

【参考情報】 人口：0.6万人
関連URL：https://www.town.minamiosumi.lg.jp

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



以前から広報紙にはユニバーサルデザインフォントを利用していましたが、高齢者向けスマートフォンに採用されていることを知り、町ホームページの閲覧デバイスの半数以上がスマートフォンやタブレット端末であることから、導入に至りました。

（南大隅町）



事業の近況を教えてください。



導入から約1年後、スマートフォンやタブレットなど画面上での読みやすさをより向上させるため、文字のサイズとフォントの太さを変更しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



本町は高齢者が多い自治体であり、住民が情報収集する方法も様々です。通常の情報発信はもとより緊急情報の提供など、情報発信する上で、デバイスにかかわらず、見やすく、誤認を防ぐための配慮をすることは、より迅速で正確な情報伝達につながると考えます。

★担当：南大隅町 役場企画課IT推進室★

令和3年度事業費　50千円